



## C NETIDの設定

近隣にあるSMA Bluetoothデバイス搭載の他の太陽光発電システムで使われているNetIDを設定しないように、ご使用の太陽光発電システムを始動する前に、使用可能なNetIDを確認しておきます。

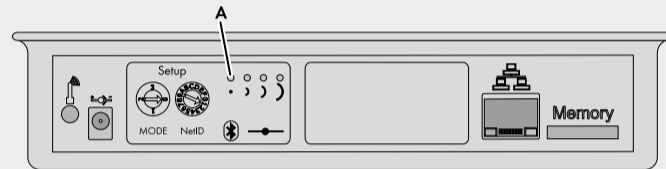
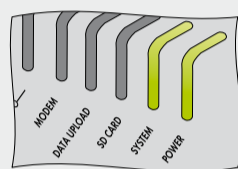
### 前提条件:

- ☐ 太陽光発電システムにあるすべてのBluetooth対応デバイスにスイッチが入っていないなければなりません(該当するデバイスの取付説明書を参照)。

### 手順:

1. ご使用の太陽光発電システムのBluetooth対応デバイスの横にSunny WebBoxを設置します。
2. Sunny WebBoxの裏面にあるNetID設定用のロータリースイッチで、NetIDを0や1以外に設定します。
3. ACアダプタをSunny WebBoxに接続し、コンセントに差し込みます。

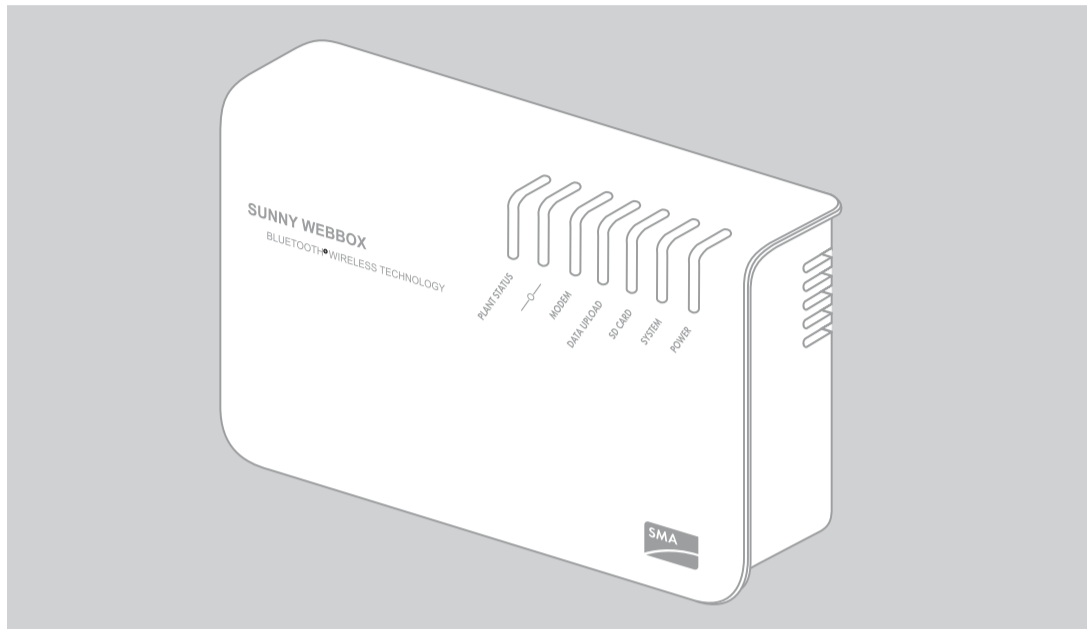
- ☑ Sunny WebBoxが立ち上がり、「SYSTEM」のLEDと「POWER」のLEDが緑に点灯したら、操作準備が整ったことを示します。これには90秒ほどかかることもあります。
- ☑ 裏面にあるBluetoothのLED(A)が消灯していれば、設定されたNetIDはまだ割り当て可能です。同じNetIDをもつSMA Bluetooth対応の太陽光発電システムは周辺に存在しません。



- ☑ 「SYSTEM」のLEDまたは「POWER」のLEDが緑に点灯しない場合は、「トラブルシューティング」の章を参照してください。
  - ☑ 裏面にあるBluetoothのLED(A)が青く点灯していれば、設定されたNetIDは既に割り当てられています。他のNetIDに設定するか、当該のNetIDが他で使用されているかを再確認してください。
4. SMA Bluetooth対応デバイスの各設置場所ならびにSunny WebBoxの設置場所において、当該のNetIDが未使用であるかどうかを確認してください。
  5. SMA Bluetooth対応のパワーコンディショナに、未使用であることが確認されたNetIDを割り当てます(パワーコンディショナの設置説明書を参照)。

## 操作クイックガイド

### BLUETOOTH® Wireless Technology 対応 SUNNY WEBBOX

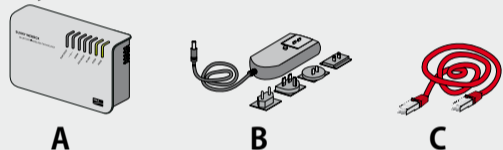


SWebbox20-SE-JP-ja-10 | 98-0061010 | バージョン 1.0

JP

## A 開梱

Sunny WebBoxを使用するには、以下の同梱品が必要になります。



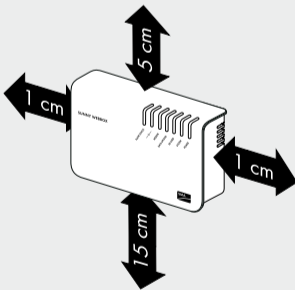
- A - Bluetooth®ワイヤレステクノロジー対応のSunny WebBox
- B - 各種差込みプラグ付きのACアダプタ
- C - 赤いネットワークケーブル(パッチケーブル)

## B 設置場所に関する注意事項を守ってください。

### 設置場所に関する注意事項:

- Sunny WebBoxは、屋内に設置することを前提に設計されています。
- 周囲温度は-20℃~65℃でなければなりません。
- 塵埃、湿気、腐食性物質、蒸気が侵入しないように、Sunny WebBoxを保護します。
- Sunny WebBoxの通気ダクトを塞がないでください。

- 十分な通気を確保できるように、壁や他のデバイス(物体)から、右図に示す最低距離を保って設置します。
- SMA Bluetooth対応のデバイスは、できるだけWLAN端末や電子レンジから最低1m離して設置します。また、(例えばZigBeeデバイス、特定の無線監視カメラ、模型飛行機のコントローラの一部機種)などの2.4GHz周波数帯を利用するその他の機器からも、同じように離す必要があります。



- SMA Bluetooth対応デバイスにおける電波到達距離は、見通し状態(デバイス同士が見える位置にある状態)で最大100mとなります。ワイヤレスデバイスの通信距離は、デバイスの間に(壁や天井などの)干渉物が存在するか否かによっても左右されます。厚い壁によって電波が遮られる場合は、電波到達距離が10m以下になることもあります。SMA Bluetooth Repeaterを使用することにより、遮蔽物などによるデバイス間の通信障害を解決できます。

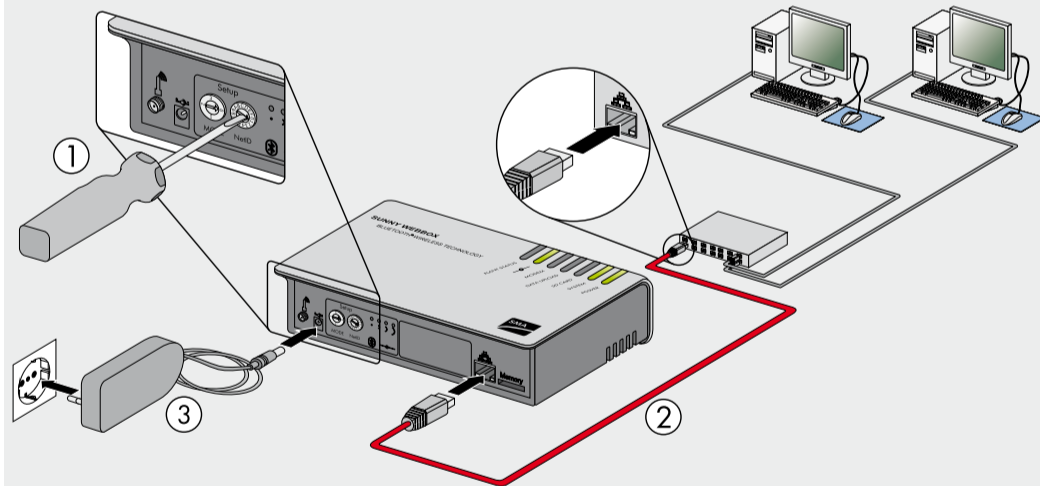
## C NETIDの設定

太陽光発電システム内にあるSMA Bluetooth対応デバイス同士が通信できるようにするには、すべてのデバイスに同じNetIDを割り当てる必要があります。すべてのSMA Bluetooth対応デバイスでは、NetIDはデフォルトで1に設定されています。ご使用の太陽光発電システムに、Bluetooth対応のSunny WebBoxを搭載したパワーコンディショナが1台しか存在しない場合、NetIDの設定は1のまま構いません。

以下の場合には、NetIDを変更する必要があります。

- ご使用の太陽光発電システムに複数のパワーコンディショナが存在する場合、その太陽光発電システムのNetIDを変更しなければなりません。それによって、複数のパワーコンディショナとの通信が可能になります。
- ご使用の太陽光発電システムの周囲500m以内に、Bluetoothに対応した他の太陽光発電システムが存在する場合は、ご使用の太陽光発電システムのNetIDを変更する必要があります。それによって、二つの太陽光発電システムを区別することができます。

## D SUNNY WEBBOXの起動



1. 未使用であることが確認されたNetIDをSunny WebBoxに割り当てます。
2. 赤いネットワークケーブルを使って、Sunny WebBoxを(ルーター、スイッチ、ハブなどの)ネットワーク構成要素につなぎます。
3. ACアダプタをSunny WebBoxに接続し、コンセントに差し込みます。

- ☑ Sunny WebBoxが立ち上がり、「SYSTEM」のLEDと「POWER」のLEDが緑に点灯したら、操作準備が整ったことを示します。これには90秒ほどかかることもあります。
- ☑ 背面にあるBluetoothのLED(A)が青く点灯したら(セクションCの図を参照)、Sunny WebBoxがご使用の太陽光発電システムにあるSMA Bluetoothデバイスと接続中であることを示します。
- ☑ 「SYSTEM」のLEDまたは「POWER」のLEDが緑に点灯しない場合は、「トラブルシューティング」の章を参照してください。
- ☑ 背面にあるBluetoothのLED(A)が消灯している場合、SMA Bluetooth対応のデバイスはSunny WebBoxの通信可能範囲外にあります。デバイスをご使用の太陽光発電システムの近くに置いてください。通信ができない場合には、SMA Bluetooth Repeaterを設置してください。

## E SUNNY WEBBOX ASSISTENTの起動

**ウェブブラウザでJavaScriptを有効にします。**  
Sunny WebBoxのユーザーインターフェースで内容を正しく表示し、機能を正しく実行するためには、JavaScriptが必要になります。ご使用のウェブブラウザでJavaScriptを有効にしてください。必要に応じて、ブラウザのヘルプを参照のこと。

**ネットワーク構成要素をすべて起動します。**  
Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)の自動検出によらず、Sunny WebBoxを手動でLANに追加する場合、LANの構成要素をすべて起動します。Sunny WebBox Assistantの指示に従って、空いているIPアドレスを割り当てます。

1. www.SMA-Solar.comのダウンロードエリアからSunny WebBox Assistantをダウンロードします。
2. ご使用のオペレーティングシステムに対応するSunny WebBox Assistantのスタートファイルを実行します。

オペレーティングシステム	Sunny WebBox Assistantのスタートファイル
Microsoft Windows 7、 Microsoft Windows Vista、 Microsoft Windows XP SP2	Sunny-WebBox-Assistant.exe
Linux*、MacOS*	Sunny-WebBox-Assistant.jar

\*Sun Java Runtime Environment (JRE)についてはバージョン6以降に対応

Sunny WebBox Assistantがウェブブラウザで開きます。



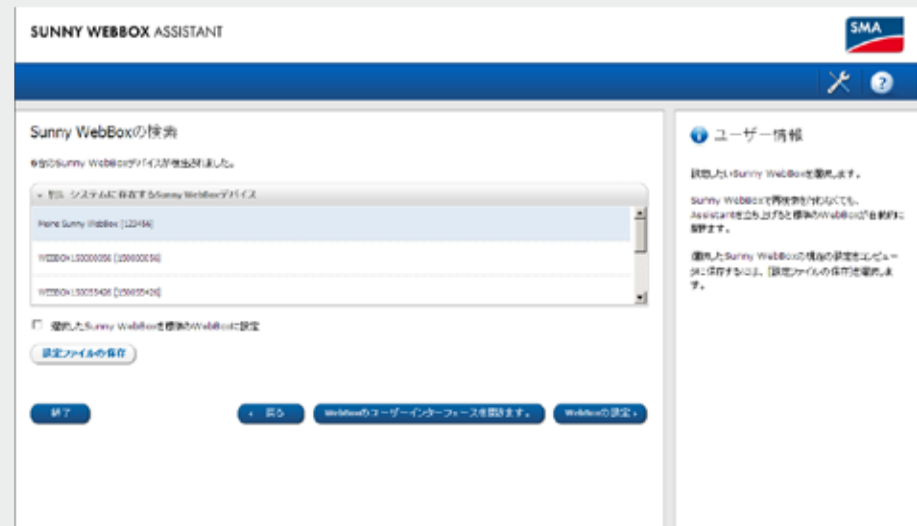
Sunny WebBox Assistantが開かない場合、「トラブルシューティング」を参照してください。

## F メニュー概要

	メニューを開くには「設定」ボタンを選びます。
	この項目でSunny WebBoxの検索を開始します。
	この項目でソフトウェアの表示言語を選択します。

## G SUNNY WEBBOXの検索

1. 使用許諾契約書に同意し、[次へ]を選びます。
  2. Sunny WebBoxをまだ接続していない場合は、Sunny WebBoxを接続して、[次へ]を選びます。
- Sunny WebBox Assistantが、ネットワークに存在するSunny WebBoxデバイスの検出を開始します。



設定したいSunny WebBoxが検出されない場合は、「トラブルシューティング」の章を参照してください。

## H SUNNY WEBBOXの設定

1. 設定するSunny WebBoxを選びます。
  2. [WebBoxの設定]を選びます。
- Sunny WebBox Assistantは、Sunny WebBoxの基本設定を順に案内します。Sunny WebBox Assistantの指示に従ってください。

- 1 Sunny WebBox へのログイン
- 2 インストールの種類
- 3 システム設定
- 4 ネットワーク設定
- 5 データ設定
- 6 Sunny WebBox 設定の要約作成と送信

## トラブルシューティング

**「POWER」のLEDが消灯している**  
• Sunny WebBoxの電源が切れています。Sunny WebBoxの電源を調べてください。

**「SYSTEM」のLEDが赤く点滅する**  
• Sunny WebBoxを再起動するには、Sunny WebBoxのACアダプターをコンセントから抜き、少し待ってから再び差し込みます。  
• 再起動しても問題が解決されなければ、SMAサービスラインにご連絡ください。

**Sunny WebBox Assistant が開かない**

エラーメッセージ : <http://localhost:4145/s/init>

- オペレーティングシステム(OS)で標準ブラウザが設定されていません。お使いのOSで標準ブラウザを指定してください。必要に応じて、OSのヘルプを参照してください。
- ウェブブラウザがインストールされていません。オペレーティングシステムに対応するブラウザをインストールしてください。

**Sunny WebBox Assistantで、Sunny WebBoxが検出されない**

- (プロキシサーバ、WLANルーターなどの)他のネットワーク構成要素がIPv6に対応していません。青いネットワークケーブルでSunny WebBoxをコンピュータと直接、接続し、再検索してください。
- 通信不可能な他のネットワーク領域内にSunny WebBoxがあります。青いネットワークケーブルでSunny WebBoxをコンピュータと直接、接続し、再検索してください。
- ファイアウォールがSunny WebBoxとの接続をブロックしています。始動の際にファイアウォールを無効にするか、必要となる接続を許可します(プロトコル: HTTP、UDPのポート:80)。必要に応じて、ファイアウォールのヘルプを参照のこと。その後、再検索してください。

**Windows XPでIPv6を有効にできない**

- IPv6を有効にするには、コンピュータの管理者権限が必要です。必要な変更を行った後、コンピュータを再起動し、Sunny WebBox Assistantを再び立ち上げます。
- Windows XP SP2では、IPv6を手動で有効にします(Sunny WebBoxの取扱説明書を参照のこと)。

**太陽光発電システムに存在するすべてのパワーコンディショナをSunny Portalで表示したいのに、表示されないものがある**

- SMA Bluetoothで接続されていないデバイスがあります。周囲環境の影響によりワイヤレス通信に問題のあるデバイスが存在する可能性があります。デバイスのBluetooth通信が機能しているかどうかをお確かめください。Sunny WebBoxでは、BluetoothのLED(A)が青く点灯していれば、Bluetooth通信中であることを示します(BluetoothLEDの位置については、セクションCにある図を参照)。

**Sunny Portalに、自分のシステムに属さないパワーコンディショナが表示される**

- 周辺に存在するSMA Bluetoothデバイス搭載の太陽光発電システムで、ご使用の太陽光発電システムと同じNetIDが使われています。SMA Bluetooth対応のデバイスに、別のNetIDを割り当てます(当該デバイスの取扱説明書を参照)。